

令和3年度例題：免許資格職／専門（獣医師）

〔例題1〕 獣医療に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 獣医師法には、獣医師の任務に関する事項や獣医師免許に関する事項に加え、飼育動物の診療施設の開設や管理に関して必要な事項も定められている。
2. 家畜伝染病予防法に定められている家畜伝染病の対象家畜は全て、獣医師法に基づき獣医師でなければ診療を業務としてはならない飼育動物に含まれている。
3. 獣医師免許を取得していない獣医学生であっても、事前の評価を受けていれば、指導教員の指導の下に全ての診療行為を行うことができる。
4. 診療を業務とする獣医師は、獣医師免許を受けた後に臨床研修を行うように努めるものとされているが、臨床研修は義務ではない。
5. 飼育動物の診療施設の開設は、個人又は営利を目的としない法人に限り認められ、営利を目的とする株式会社等には認められていない。

〔正答4〕

〔例題2〕 黄体遺残に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 家畜では牛のみに発生する卵巢疾患である。
2. 遺残した黄体は、プロジェステロン分泌機能が低下している。
3. 発情が数日から十数日程度の間隔で繰り返す。
4. 子宮に蓄膿症などの異常を認める場合を除き、1回の検査で本症を診断することはできない。
5. 本症の治療にはhCG製剤の筋肉内投与が用いられる。

〔正答4〕